

学校法人 菊武学園
菊華高等学校

令和四年度 入学生選抜試験問題

国語

〈試験の注意〉

- 試験開始の合図があるまで開けないでください。
- 監督の先生の指示に従って、受験番号と氏名を記入、マークしてください。
- 試験時間は、四十分です。
- 解答は、すべて解答用紙にマークしてください。
- 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないようにしてください。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。
- 破れた場合は交換しますので、申し出てください。
- 丁寧にマークをしてください。乱雑な場合、0点になります。
- 解答用紙の余白に書き込みをしてはいけません。

〈マークシート記入の注意〉

番号を記入	受験番号
番号をマーク	① ① ① ① ① ① ① ①

ふりがな	
氏名	

氏名とふりがなを記入

受験番号						氏名	
------	--	--	--	--	--	----	--

一、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

私は、科学が再び文化のみに寄与する⑦営みを取り戻すべきと考えている。壁に飾られたピカソの絵のように、なければならぬで済ませられるが、そこにあれば⑧楽しい、なければ何か心の空白を感じてしまう、そんな⑨「無用の用」としての科学である。世の中に役立つというような(1)野心を捨て、自然と戯れながら自然の偉大さを学んでいく科学で良いのではないだろうか。好奇心、探求心、美を求める心、想像する力、普遍性への憧れ、そのような人間の感性を最大限錬磨して、人間の可能性を拡大する営みのことである。

A、経済一辺倒の現代社会では、そんな原初的な科学は許されない。一般に文化の創造には金がかかる。

B 科学は高価な実験器具やコンピューターを必要とするから一定の投資をしなければならず、そうすれば必ずその分の(2)見返りが要求される。「文化より明日のコメを」という声も⑩絶えることがない。社会もムダと思われるものに金を投ずるのを、(3)忌避するからだ。それが「役に立つ」科学とならねばならない要因で、⑪科学者もセールスマンのように次々目新しい商品を用意して社会の要求に迎合していかねばならなくなる。それを(4)逆手にとって、C 世の中を牛耳っているかのように(5)尊大に振る舞う科学者すら登場するようになった。これほど社会に貢献しているのだから、もっと金をよこせというわけである。⑫金を通しての科学者と社会の綱引き状態と言えるだろうか。

それでいいのかと改めて考え直してみる必要がある。確かに科学には金がかかり、それには社会の支持が欠かせない。「無用の用」にすらならないムダも多いだろう。しかし、ときに科学は世界の見方を変える大きな力を秘めている。事実、科学はその力によって自然観や世界観を一変させ、

社会のありように大きな変化をもたらしてきた。社会への見返りとは、そのような概念や思想を提供する役目にあるのではないか。それは万に一つくらいの確率であるかもしれないが、科学の営み抜きにしては起り得ない貢献である。むしろ、天才の登場を必要とする場合が多いが、その陰には無数の無名の科学者がいたことを忘れてはならない。それらの積み上げがあつてこそ天才も活躍できるのである。

今必要なのは、「文化としての科学」を広く市民に伝えることであり、科学の楽しみを市民とともに共有することである。実際、本当のところ市民は「役に立つ科学」ではなく、「役に立たないけれど知的なスリルを味わえる科学」を求めている。市民も知的冒険をしたいのだ。それは「はやぶさ」の人気、日食や月食や流星群に注がれる目、ヒッグス粒子発見の騒動などを見ればわかる。⑬そこに共通する要素は、「物語」があるという点だ。科学は冷徹な真理を追い求めているのには相違ないが、その道筋は「物語」に満ちている。科学の行為は科学者という人間の営みだから、そこには数多くのエピソードがあり、成功も失敗もある。それらも一緒に紡ぎ合わせることによって「文化としての科学」が⑭豊かになっていくのではないだろうか。それが結果的に市民に勇気や喜びを与えると信じている。

(池内了「科学の限界」より)

「はやぶさ」 小惑星探査機の名称

ヒッグス粒子 物質に質量を与える素粒子

以下の問いの答えは解答用紙にマークしなさい。

問1 傍線(1)～(5)の語句の意味として適当なものを選択肢から選びなさい。

(1) 野心

- ① いつわりのない気持ち
- ② 自然を敬う気持ち
- ③ 大きな望み
- ④ やさしい気持ち
- ⑤ 乱暴なふるまい

(2) 見返り

- ① 過去をなつかしく思い返すこと
- ② 相手がしてくれたことに対して何かすること
- ③ あとに残ったお金のこと
- ④ 振り向いて後ろを見ること
- ⑤ 相手の問いかけに答えること

(3) 忌避する

- ① 安全な場所に逃げる
- ② なげき悲しむ
- ③ うまく言い訳する
- ④ 適当にごまかす
- ⑤ 嫌ってさける

(4) 逆手にとって

- ① 相手の言い間違いを非難する
- ② 相手の立場を逆に利用する
- ③ 相手と逆のことを言う
- ④ 相手の反応を観察する
- ⑤ 相手をだまして困らせる

(5) 尊大に

- ① いばって偉そうに
- ② 優しくていねいに
- ③ へりくだって
- ④ 威厳のある様子
- ⑤ 小さなことにこだわらない様子

問2

A 〽 C

に適切な語句をそれぞれ選択肢から選びなさい。

(6) A ① むろん ② ところで ③ または

④ きっと ⑤ つまり

(7) B ① なぜなら ② すると ③ だから

④ ただし ⑤ ましてや

(8) C ① しかも ② まさか ③ きっと

④ あたかも ⑤ たとえ

問3 傍線(ア)①(イ)②の語句について、適切な品詞をそれぞれ選択肢から選びなさい。

(9) 営み

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 副詞

(10) 楽しい

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 副詞

(11) 絶える

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 副詞

(12) 豊かに

① 動詞 ② 形容詞 ③ 形容動詞 ④ 名詞 ⑤ 副詞

問4 傍線㉑「『無用の用』としての科学である」とあるが、これはどういうことか、適当なものを選択肢から選びなさい。

(13) ① 役に立つか立たないかが問題ではなく、自然が持つ力が人間の

可能性を伸ばしていくということ。

② 役に立つか立たないかが問題ではなく、自然を素直に観察すること、その偉大さが理解できるということ。

③ 役に立つか立たないかが問題ではなく、自然とともに生きる知恵を真剣に考えること。

④ 科学は文化にだけ役立てるものではなく、政治や経済にも応用できることを知るべきである。

⑤ 科学はなければならないで済ませられる、役に立たないものだということを知るべきである。

問5 傍線㉒「科学者もセールスマンのように次々目新しい商品を用意して社会の要求に迎合していかねばならなくなる」とあるが、なぜか、理由として適当なものを選択肢から選びなさい。

(14) ① 目新しい商品が売れることで、次にどのような商品を開発したらよいか、方向性が決まるから。

② 目新しい商品が売れることで、その利益の一部が研究開発費になり、研究がしやすくなるから。

③ 科学が社会に貢献していることを示さなければ、世間から支持されないし、必要な支援も受けられないから。

④ 科学が社会に貢献していることを示すことで、目新しい商品がどんどん売れるようになるから。

⑤ 目新しい商品の開発は明るいニュースになる。注目をしてもらえることが科学者にとってうれしいことだから。

問6 傍線㉓「金を通しての科学者と社会の綱引き状態と言えるだろうか」とあるが、これはどういうことを言おうとしているのか、説明として適当なものを選択肢から選びなさい。

(15) ① 社会は科学に対して「役に立つ」ことを要求し、科学者は科学によって得た利益を要求する。

② 巨額の金を目の前にして、科学者と経営者がお互いに自分のものだと言って譲らない。

③ 巨額の金を目の前にすると誰もが落ち着きをなくし、急に自分の利益を主張するようになる。

④ 以前に比べて科学者が利益を求めることが増え、このことが社会問題になってきた。

⑤ 科学者の意見と社会の要求が金を仲介にちょうどバランスよく保たれている。

問7 傍線㊦「そこに共通する要素は、『物語』があるという点だ」の「物語」について説明した文として適当なものを選択肢から選びなさい。

- (16)
- ① 科学の面白さを市民に伝えるには内容を「物語」に置き換えるしか方法がない。
 - ② 古代の神話にも日食や月食といった天体の事象が「物語」として描かれている。
 - ③ 科学者という人間が真理を追求する過程にはさまざまなエピソードがあり、時には失敗や誤りもある。これを「物語」と呼ぶ。人々は「科学」よりも「物語」に魅力を感じる。科学の歴史を「物語」にすることで市民の興味をひこうとした。
 - ⑤ ある特定の「物語」はロマンチックなものではなく、科学的なデータをもとに書かれている。

二、次の文章は森谷明子「南風吹く」の一部である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

小市航太は愛媛県の離島、五木島に父、祖母と住む高校三年生。現在通っている越智高校五木分校は生徒数の減少で廃校が決まっている。航太は足のけがで球技部を引退、文芸部に勧誘されて、いきなり俳句甲子園に出場することになった。航太の祖母は以前狭心症で倒れ、医師から手術をすすめられていた。

実際、京は腹を決めたようだ。

全国大会の準備も着々と進む。色々思うことはあっても、何事もなく時

は過ぎた。

だが、期末テストが終わった日。須賀が、息せき切って部屋にやってきた。

「航太、すぐに帰れ！ おばあさんが急に具合が悪くなられたとかで、救急艇で本土の病院に運ばれた！」

体中の血がなくなるような気がした。全身が冷たくなる。

「それで、ばあちゃんは……？」

「大丈夫だ、すぐに手術を受けるらしい。お父さんがつき添っておられる。早く行け」

今までも海が嫌いになり始めていたところだった。だが、こんなに憎いと思ったのは初めてだ。

何度も親父に電話をかけて、ようやく話ができたのは本土へ渡るフェリーを待っている時だった。

「ばあちゃん、今手術室に入った。心臓に近い血管が詰まったから、血管の中に管を通して、その詰まりを取るそうだ。カテーテル手術というらしい。」

「この前、親父が説明してくれた手術か」

「ああ、そうだ。先生たちは、そんなに難しい手術じゃないと言ってくれている。」

㊦、航太、あわてて駆けつけようとして怪我なんかするな。病院の場所はわかるな？

「うん」

① 通話を終えてからも、航太はしばらくスマートフォンを握りしめていた。

「……海さえなければ、ばあちゃんは入院を承知していたかもしれない。そうしたら、もっと早く、軽いうちに手術を受けられていたんだ」

「うん」

ベンチの隣にだらしないう格好ですわっている恵一が、相槌を打つ。

「こんなに、血の塊が大きくなる前にさ。だけど、ばあちゃんは島を離れるのを嫌がった」

「うん」

——島で生まれて島で死んでいくんだから。

そう言い張るばあちゃんを、親父も航太も説得し切れなかったのだ。

「おれの母親だって、そうだ。急に頭が痛いってしゃがみ込んで、病院に駆け込んで救急艇で運んでもらっているうちに……」

「くも膜下出血、だったよな、お母さん」

「そう。きっと、救急車ですんなり運んでもらえるようなところに住んでいたら……」

ようやく、フェリーの汽笛が聞こえてきた。そののどかな音さえ、今は

⑦。

「じゃあな」

立ち上がる航太に、恵一は乗船口までついてきてくれた。

「うちの親父が家にいたら、フェリーなんか待たずにすんだよな。船を出せて掛け合えたんだけど。でもまだ漁から戻っていないんだ。悪い」

「いいんだよ」

一人でフェリーに乗り込んだものの、座席に落ち着いている気にはなれず、⑤航太はずっとデッキの手すりをつかんだまま、街の灯が大きくなくなるのをにらみつけていた。

⑧「……ぼくら水の壁に隔てられています」

ふと、そんな言葉が口について出る。

それが十七音であることに気づき、おかしくもないのに変な笑い声が漏れた。

京…文芸部二年の女子

須賀…航太の担任の先生

恵一…航太の幼なじみの同級生で俳句が好き

問1

⑨にあてはまる語を選択肢から選びなさい。

(17) ① だから ② しかし ③ また

④ さらに ⑤ きっと

問2 傍線⑩「通話を終えてからも、航太はしばらくスマートフォンを

握りしめていた」について、この時の航太の気持ちとしてあてはまらないものを選択肢から選びなさい。

(18) ① 父と連絡が取れてほっとしたが、これからフェリーで本土へ向

かう途中で祖母に何かあるのではないかという不安。

② 医者は難しくない手術で大丈夫だと言うが、離れた本土の病院でもあり、やはり祖母の容態が気がりである。

③ 祖母を本土の病院に入院させようと説得したが、できずにこうした状況になってしまったことを後悔している。

④ フェリーが到着するまでまだ相当時間がかかる。船を待たずに本土へ渡る方法はないかと冷静に考えている。

⑤ 祖母の容態を聞いて、以前航太が母を急病で失った時の悲しみや、くやしさを思い出した。

問3 ㊦ にあてはまる語を選択肢から選びなさい。

- (18) ① なつかしい ② みすばらしい ③ 騒々しい
④ うらやましい ⑤ 腹立たしい

問4 傍線㉔「航太はずっとデッキの手すりをつかんだまま、街の灯が大きくなるのをにらみつけていた」とあるが、航太がこのような態度をとった理由としてあてはまるものを選択肢から選びなさい。

- (20) ① 航太の言葉に「うん」としか返事をしなかった恵一の態度に非常に腹が立っていたから。
② 祖母の容態が気になって仕方がなく、フェリーが一刻も早く本土に着いてほしいと願う気持ちから。
③ 島と違って明るくにぎやかな本土をうらやましく思い、海を憎む気持ちかわき起ってきたから。
④ 島の外に出るのは久しぶりで、窮屈だった島の日常生活からしばらく離れられると思ったから。

問5 次の①～④の会話は、傍線㉔「……ぼくら水の壁に隔てられてます」について生徒が話し合ったものである。内容が本文に適するものを選択肢から選びなさい。

- (21) ① 生徒A 「ぼくら」としたところに、航太だけでなく家族や友人、島に住む人たち全員を代表した思いがこめられています。自分が生まれ育った島を誇りに思う気持ちをいつも忘れない、航太の熱い気持ちがこの一言にあふれています。

② 生徒B 「水の壁」は海をたとえた言葉です。この場合は本土と五木島の間の瀬戸内の海をあらわし、航太の住んでいる島も海に隔てられながら豊かな自然に恵まれているということを表現したのだと思います。

③ 生徒C 「隔てられています」という語に、かつて航太の母が島の病院で手当てを受けられずに亡くなったことや、祖母も救急艇で本土の病院に運ばれていることなど、島の生活は不自由を感じることと、海への憎しみを表しています。

④ 生徒D 航太は文芸部で毎日俳句を考えています。日々の生活の中でも感じたことをすぐに十七音にまとめられるということは、航太の俳句の腕前が上がってきているということを表しているのではないのでしょうか。

三、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

(藤原佐理は)世の手書きの上手。任果てて上られけるに、伊予国の前なる泊とまりにて、日いみじう荒れ、海の面おもて悪しくて、風恐ろしく吹きなどするを、少し直りて出でむとしたまへば、㉔また同じやうになりぬ。斯くのみしつつ日ごろ過ぐれば、いと怪しくおぼして、物問ひたまへば、「神の御崇たり」とのみ言ふに、㉕さるべき事もなし。「いかなる事にか」と畏れたまひける夢に見えたまひけるやう、いみじう気高けだかきさましたる男のおはして、「この、日の荒れて、日ごろここに経たまふは、己おのれがし侍る事なり。よろづの社やしろに額がくの懸りたるに、己おのれが許もとにしも無なきが悪しければ、㉖懸けむと思ふに、なべての手して書かせむがわろく侍れば、汝われに書かせ奉たてまつらむと思ふにより、『この折ならではいつかは』とて、止め奉りた

るなり」とのたまふに、「誰とか申す」と問ひ申したまへば、「この浦の三島に侍る翁おきななり」とのたまふに、夢のうちにも、いみじう㊥かしこ畏まり申すとおぼすに、㊦おどろきたまひて、また更さらにも言はず。

(「大鏡」より)

藤原佐理…書道の名手で「三跡さんせき」の一人
任果てて…地方官の任期を終えて

少し直りて…少し天候が回復して

物問ひたまへば…占い師におたずねになると

日ごろここに経たまふは…あなた(佐理)が何日もここで過ごされてい
るのは

己れが許にしも無きが悪しければ…私の所に限ってないのが不都合なので
なべての…普通の

この折ならではいつかは…この機会をはずしたらいつ書いてもらえようか

問1 傍線㊧「また同じやうになりぬ」とあるが、何がどのようになる
のか、適当なものを選択肢から選びなさい。

- (22)
- ① 気分がひどく悪くなる
 - ② 船がひどく揺れる
 - ③ 天候がひどく荒れる
 - ④ 佐理が地方官に任命される
 - ⑤ 天候が回復する

問2 傍線㊧「さるべき事」とはどのようなことを指しているか、適当
なものを選択肢から選びなさい。

- (23)
- ① ひどく疲れるようなこと
 - ② 神の祟りを受けるようなこと
 - ③ 不思議な夢を見ること
 - ④ 出発する気分にならないこと
 - ⑤ 以前のような字が書けないこと

問3 傍線㊧「懸けむと思ふに」とあるが、何を懸けようとしたのか、
適当なものを選択肢から選びなさい。

- (24)
- ① 屋根
 - ② 額
 - ③ 木の板
 - ④ お札お札
 - ⑤ ひも

問4 傍線㊧「畏まり申す」とは佐理が何を引き受けたのか、適当な
ものを選択肢から選びなさい。

- (25)
- ① 人々の夢をかなえること
 - ② 神の怒りを鎮めること
 - ③ 神社を参拝すること
 - ④ 額に字を書くこと
 - ⑤ 周りの人に夢の内容を伝えること

問5 傍線㊧「おどろきたまひて」とあるが意味として適当なものを選
択肢から選びなさい。

- (26)
- ① ひどく驚かれて
 - ② 大声を出されて
 - ③ 急にお立ちになって
 - ④ ふとひらめかれて
 - ⑤ お目覚めになって

問6 「大鏡」は次のどの物語に分類されるか、適当なものを選択肢から
 選びなさい。

- (27) ① 歴史物語 ② 歌物語 ③ 軍記物語
 ④ 説話物語 ⑤ 作り物語

四、次の傍線部のカタカナにあてはまる漢字を選択肢から選びなさい。

- (28) 社会保シヨウ費が増える。
 ① 小 ② 生 ③ 証 ④ 傷 ⑤ 障
- (29) 不当な扱いにコウ議する。
 ① 工 ② 抗 ③ 講 ④ 公 ⑤ 更
- (30) 父は市役所にツトめている。
 ① 努 ② 務 ③ 勤 ④ 勉 ⑤ 力
- (31) 病院で点テキを受ける。
 ① 滴 ② 摘 ③ 敵 ④ 的 ⑤ 適
- (32) 松や杉はシン葉樹である。
 ① 心 ② 真 ③ 深 ④ 針 ⑤ 伸

五、次の語句の対義語（反対の意味の語）を選択肢から選びなさい。

- (33) 永遠
 ① 過去 ② 時刻 ③ 空間 ④ 瞬間 ⑤ 希望
- (34) 攻撃
 ① 負傷 ② 防御 ③ 被害 ④ 準備 ⑤ 保護
- (35) 自立
 ① 補助 ② 介護 ③ 依存 ④ 由来 ⑤ 規則
- (36) 冷淡
 ① 集中 ② 温暖 ③ 加熱 ④ 親切 ⑤ 大胆

六、次の四字熟語の□にあてはまる漢字を選択肢から選びなさい。

- (37) □田引水
 ① 墾 ② 近 ③ 我 ④ 稻 ⑤ 干
- (38) 支離□裂
 ① 滅 ② 分 ③ 並 ④ 二 ⑤ 開
- (39) 晴□雨読
 ① 天 ② 風 ③ 雲 ④ 耕 ⑤ 書
- (40) 優柔□断
 ① 布 ② 負 ③ 付 ④ 普 ⑤ 不

